



院内助産所のご案内



院内助産所とは・・・

ご家族の方も一緒に暖かい家庭的な雰囲気のお産を目指しています。出産時異常があれば産科医が、出産後赤ちゃんに異常があれば小児科医が24時間対応するという体制のもとで、安全性を備えたお産という助産所と病院の両方のよさをおねそろえたシステムです。

院内助産所でお産できる方

- ① 自分らしいお産を希望し、産婦さん・助産師が主体となってお産を希望する方。
- ② 院内助産所でお産を希望されている方で、ご主人の同意がある方。
- ③ 妊娠中に定期健診を受け、正常に経過している方。
- ④ 経産婦で前回異常がなかった方。
- ⑤ 合併症がなく、当院産科医より経膈分娩が可能であると診断をされた方。
- ⑥ ご家族と一緒に産みたい方。

院内助産所で出産までの流れ

24週頃までに

子宮の長さとおりものの検査で異常がなければ、院内助産所の趣旨を十分ご理解いただき、妊娠分娩に伴うリスクについて助産師から説明し、院内助産所の同意書をお渡しします。

26週頃までに

同意書を提出し、産科医の許可を得て、院内助産所でお産が決定となります。以降の健診は、エコーの予約のない日は月・木曜日の午後となります。ご家族と一緒に健診し、赤ちゃんの元気な姿をエコーでもみることができます。

28週頃に

バースプランを渡します。自分らしい満足のいくお産をするために、希望を書きいただきます。分からない事があれば、何でも助産師にお話してください。

34 週頃に

バースプランを提出してもらいます。NST（胎児心拍とお腹のほりをみる機械）を装着しながら、バースプランについてお話ししましょう。

37 週以降から

妊健時に毎回 NST を行います。必要あれば、内診して子宮の入り口がどれくらい開いているか診てみます。



分娩時について

陣痛が始まり入院しますと、当番の助産師がそばでお世話させていただきます。（場合により途中で交代することもあります。）

陣痛の間は自由に動くことができます。あなたがいてほしい時はご家族も一緒にいてもらいましょう。

お産の体位は自分で選べます。お産は分娩室の分娩台になります。

会陰切開は原則として行っていません。分娩経過中に異常があれば、医師に診察を依頼します。



産後について

退院診察は医師が行います。

